

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【公開番号】特開2010-248680(P2010-248680A)

【公開日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-044

【出願番号】特願2010-58868(P2010-58868)

【国際特許分類】

D 2 1 H 15/02 (2006.01)

D 2 1 H 13/26 (2006.01)

F 2 4 F 7/08 (2006.01)

【F I】

D 2 1 H 15/02

D 2 1 H 13/26

F 2 4 F 7/08 101B

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

セルロースパルプと熱可塑性高分子のナノファイバーとを含むことを特徴とする全熱交換用原紙。

【請求項2】

前記セルロースパルプがJIS P 8121(1995)で規定されるカナダ標準ろ水度試験で150mlを超えるろ水度を示すものであることを特徴とする請求項1記載の全熱交換用原紙。

【請求項3】

前記熱可塑性高分子の主成分がナイロンであることを特徴とする請求項1または2記載の全熱交換用原紙。

【請求項4】

さらに吸湿材を含むことを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の全熱交換用原紙。

【請求項5】

熱可塑性高分子のナノファイバーを分散させる工程、前記工程とは別にセルロースパルプを分散させる工程、前記工程で分散されたナノファイバーと前記工程で分散されたセルロースパルプを混合し、抄紙する工程で得られたものである請求項1～4のいずれかに記載の全熱交換用原紙。

【請求項6】

熱可塑性高分子のナノファイバーを分散させる工程、前記工程とは別にセルロースパルプを分散させる工程、前記工程で分散されたナノファイバーと前記工程で分散されたセルロースパルプを混合し、抄紙する工程を有することを特徴とする請求項1～4のいずれかに記載の全熱交換用原紙の製造方法。

【請求項7】

請求項1～5のいずれかに記載の全熱交換用原紙を用いたことを特徴とする全熱交換用素子。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

(5) 熱可塑性高分子のナノファイバーを分散させる工程、前記工程とは別にセルロースパルプを分散させる工程、前記工程で分散されたナノファイバーと前記工程で分散されたセルロースパルプを混合し、抄紙する工程で得られたものである請求項1～4いずれかに記載の全熱交換用原紙。

(6) 熱可塑性高分子のナノファイバーを分散させる工程、前記工程とは別にセルロースパルプを分散させる工程、前記工程で分散されたナノファイバーと前記工程で分散されたセルロースパルプを混合し、抄紙する工程を有することを特徴とする請求項1～4いずれかに記載の全熱交換用原紙の製造方法。

(7) 前記(1)～(5)のいずれかに記載の全熱交換用原紙を用いたことを特徴とする全熱交換用素子。